



Jr.ウインターカップ2020-21 第1回全国U15バスケットボール選手権大会

開催場所: 武蔵野の森総合スポーツプラザ Mコート

試合区分: No. 246 女 女子決勝 W46

期 日: 2021(R03)年1月7日(木)

クルーチーフ: 蒲 健一

開始時間: 13:10 終了時間: 14:29

アンバイヤー: 穂川 苑子、河原畑幸乃

四日市メリノール学院中学校 (三重)	○ 60	11 -1st- 18 11 -2nd- 14 20 -3rd- 12 9 -4th- 7 9 -OT1- 5 -OT2- -OT3-	● 56	京都精華学園中学校 (京都)
-----------------------	----------------	---------------------------------------------------------------------------------------	----------------	-------------------

四日市メリノール学院中学校

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4	*	東 紅花	26	5	17	5	12	1	1	0	2	2	4	0	3	1	0	31:49
5		坂本 沙明良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6		永井 友里菜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7		辻村 望乃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
8	*	黒川 心音	8	0	5	4	9	0	0	3	0	1	1	3	9	1	0	24:06
9		小倉 楓彩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	*	深津 唯生	7	0	0	3	7	1	4	4	1	7	8	1	0	2	0	33:10
11		近藤 可乃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12		國保 幸希	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4:22
13		井口 姫愛	5	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	2	2	1	0	15:48
14	*	永福 歩暖	6	0	0	0	0	6	6	1	1	2	3	0	2	3	0	23:43
15	*	福王 伶奈	8	0	3	4	11	0	0	3	5	7	12	5	1	1	1	35:00
16		鈴木 瑚香南	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	7:02
17		濱田 なの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
18		秋葉 妃奈詩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
HC		稲垣 愛 / TEAM	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	6	1				
合 計			60	6	26	17	41	8	11	13	12	25	37	13	17	9	1	175:00
				23.1%		41.5%		72.7%										

京都精華学園中学校

NO.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4	*	堀内 桜花	11	0	2	4	17	3	5	0	2	9	11	5	7	0	0	35:00
5	*	八木 悠香	9	0	1	4	6	1	2	2	2	4	6	1	3	2	2	35:00
6	*	大田 紅葉	2	0	0	1	3	0	0	2	0	3	3	2	0	0	0	15:04
7		山西 凛愛	5	0	3	1	3	3	3	1	1	3	4	0	0	1	0	19:25
8		塚口 珠妃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9		雁瀬 梓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1:00
10		松居 かなで	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11		土屋 あかり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12		高井 星	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13		松居 すずな	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		岩本 咲子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	*	ティマロ ジェシカ ワリエビモ エレ	19	0	0	9	16	1	2	3	5	10	15	6	1	2	3	35:00
16	*	林 咲良	10	2	6	1	5	2	2	0	1	1	2	2	4	4	0	33:35
17		木谷 夢菜	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:56
18		坂口 美果	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
HC		米長 里紗 / TEAM	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	7	1				
合 計			56	2	13	20	50	10	14	8	15	33	48	17	15	9	5	175:00
				15.4%		40.0%		71.4%										

PTS: ポイント
M: 成功数
A: 試投数
%: シュート率

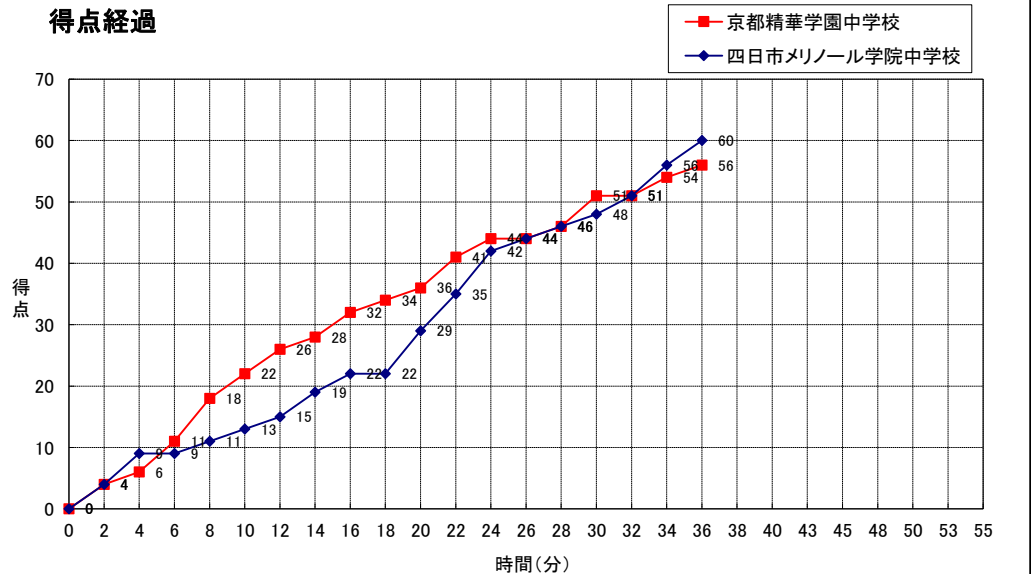
FG: フィールドゴール
3P: 3ポイントシュート
2P: 2ポイントシュート
FT: フリースロー

F: ファウル
OR: オフェンスリバウンド
DR: ディフェンスリバウンド
TOT: トータルリバウンド

TO: ターンオーバー
AS: アススト
ST: スティール
BS: ブロックショット

MIN: 出場時間
S: スターター
OT: 延長

得点経過



ゲームレポート

【総評】
序盤こそ四日市メリノール学院が抜け出したが、京都精華学園が速い展開からペースをつかんでいく。第2クォーターに入っても京都精華学園が#15ティマロを軸にして、多彩な攻撃で得点を重ねていく。後半に入ると四日市メリノール学院が#4東の3ポイントシュート、バスケットカウントなどで徐々に点差を詰める。第4クォーターの立ち上がりで四日市メリノール学院が追い付くと、そこからは両チームが決め合い、延長戦へ。延長戦でも#4東の3ポイントシュート、#8黒川のジャンプシュートなどで勢いを止めなかった四日市メリノール学院がJr.ウインターカップ初代女王に輝いた。

【第1クォーター】
四日市メリノール学院が#15福王のインサイドプレーで先制すると、京都精華学園も#15ティマロのバスケットカウント、#4堀内の1対1などで対抗する。四日市メリノール学院が#8黒川の1対1、#15福王のシュートなどで抜け出しにかかるが、京都精華学園は#5八木の1対1、#15ティマロの速攻で追い上げ、さらに#16林の3ポイントシュート、#4堀内のバスケットカウントで逆転に成功する。約4分間得点を止まっていた四日市メリノール学院は残り12秒で#13井口がレイアップシュートをねじ込むが、京都精華学園#4堀内が1対1を決め返し、18-11で第1クォーターを終える。

【第2クォーター】
京都精華学園が#5八木のジャンプシュート、#15ティマロの3人に囲まれながらねじ込んだシュートでペースをつかむ。反撃に出たい四日市メリノール学院だったが、なかなかシュートが決まらず、守っても京都精華学園#6大田、#5八木のドライブを止めきれない。悪い流れを断ち切りたい四日市メリノール学院はタイムアウトの直後に#10深津が1対1を決め、さらに#4東が3ポイントシュートを含む3連続得点で反撃に出る。しかし京都精華学園は#7山西のジャンプシュート、#15ティマロのゴール下、#4堀内の1対1で押し返し、32-22で前半を折り返す。

【第3クォーター】
前半に続き、京都精華学園が#15ティマロの攻守に渡る活躍でペースをつかむ。四日市メリノール学院も#14永福のフリースロー、#4東のジャンプシュート、#13井口の3ポイントシュートで追い上げていく。京都精華学園は#16林のフリースローで押し返すが、四日市メリノール学院#4東がバスケットカウントを決め返して、つかみかけたペースを減さない。終盤四日市メリノール学院#4東が3ポイントシュートを決め、3点差に追ったところで京都精華学園がタイムアウト。直後に京都精華学園#16林が3ポイントシュートを決めるが、四日市メリノール学院も#4東が3ポイントシュートを決め返す。最後は四日市メリノール学院#10深津がゴール下のシュートをねじ込んで42-44で第3クォーターを終える。

【第4クォーター】
立ち上がり、四日市メリノール学院が#8黒川のロングバスを#15福王がジャンプシュートで決め、同点に追いつく。京都精華学園も#16林のリバースシュートで抜け出すが、四日市メリノール学院も#14永福のフリースローで食らいつつしていく。中盤は連戦の疲れと、厳しいディフェンスでお互いに得点を取ることができなかったが、終盤、京都精華学園#16林のレイアップシュートは落ちたが、フォローに走っていた#15ティマロがリバウンドを押し込みバスケットカウント。四日市メリノール学院も#15福王が決め、さらに#4東が3ポイントシュートを決めて同点に追いつく。最後はどちらも決めきれず、勝負は延長戦へ。

【延長戦】
先に得点を動かしたのは四日市メリノール学院、#14永福がドライブからファウルを誘い、フリースローをちきり決める。京都精華学園も#15ティマロがドライブをねじ込むが、四日市メリノール学院は#4東が3ポイントシュートを決め返す。最後のタイムアウトを取った京都精華学園だったが、四日市メリノール学院のディフェンスを攻めきれず、逆に四日市メリノール学院は#10深津のゴール下、#8黒川のジャンプシュートが決まり、56-60。四日市メリノール学院が初優勝を決めた。

担当者: ()

公益財団法人日本バスケットボール協会